



平成22年度

SEASON 4

平成22年12月21日

全校児童数

145名

御館小学校・下枝分校 学校だより

黒石みかげ №35

磨け われらは 黒石みかげ

文責：校長 松本 学



◇第2学期 最終号◇

第2学期最後の学校だよりになりました。16日(木)は、授業参観～学年懇談会とご参加いただき、感謝しております。第2学期も数々の成果といくつかの課題を残して、残り1日となりました。まもなく、子どもたちが楽しみにしている長い休みがやってきます。大晦日、お正月等の日本の伝統行事、地域の行事等を思う存分楽しませていただければ幸いです。

長い休み中のいろいろな事故防止に留意され、ご家族で楽しく冬休みをお過ごし下さい。

授業参観ありがとうございました。

12月16日(木)の授業参観には、保護者の方々に多数ご参観いただき、誠にありがとうございました。また、その後の学年懇談会にも、多数お残りいただき、感謝申し上げます。お子様の様子はいかがでしたか？気になることがあれば、担任まで遠慮なくご相談下さい。3学期は、2月25日(金)に最後の授業参観が予定されています。



【授業参観の様子】



【授業参観の様子】

※工事は、冬休みいっぱいです。完成予定ですが、危険ですので、休み中も決して近づかないで下さい。



【体育館屋根改修工事】  
※雨漏り防止等

給食三題(米粉パン、重、冬至カボチャ)

12月の給食献立は、話題の「米粉パン」、湖南の郷土料理「重」、季節料理「冬至カボチャ」がメニューに上りました。「米粉パン」は、米の粉でできたパンです。全体的にモチモチしていて、大変おいしいパンでした。湖南の郷土料理「重(じゅう)」は、会津では「こづゆ」と呼ばれ、各家庭で独特の味があります。私は、会津生まれなので、他の家の「こづゆ」をいただいても「おいしい」とは思いません。やはり、その家その家で受け継がれた味があるようです。「冬至カボチャ」は、小豆から給食室で煮て作る本格的なものです。小豆のつぶつぶ食感が残る大変おいしいものでした。



【重(じゅう)】



【米粉パン】



【冬至カボチャ】

※郷土食、季節料理、なだ子どもたちにその美味しさを伝えていくことが大切です。



【全校集会の様子12/15】 読書は、感性を磨きます。

閑話休題：読書のすすめ

この冬休みは、「読書」をしましょう！テレビやゲームも楽しみですが、寒く戸外で遊ぶことができない時などじっくりと本を読んでみるのも楽しいと思います。先日の全校集会で、小学校高学年の時、私が競って読んだ「少年探偵団シリーズ」…怪人二十面相、明智小五郎などを例に子どもたちにお話ししました。



【冬至カボチャ】

## 第2学期の成果 黒石○み○か○げ

○「○みんなで助け合う子ども」の育成（徳育）

◇ 教育相談活動の充実（重点事項）…保護者の皆さまと担任又は、スクールカウンセラーと共にお子様についての悩みや課題を話し合うことができる体制が整い、連携して考え行動できた数々の成果がありました。

○「○かんがえ、伝える子ども」の育成（知育）

◇ 個に応じた支援体制（重点事項）…個々の子どもたちに目を向けた授業や生活指導を充実させることができました。

○「○げんきにきたえる子ども」の育成（体育）

◇ 健康・安全の習慣化（重点事項）…交通事故の悪い御館地区で、事故＝0を達成できました。また、大きな病気や感染症もありませんでした。

さらに、今年度も①保・小・中連携教育 ②地域に根ざした授業の充実など、特色ある教育が充実しました。3学期は、まとめ～次学年に続く教育を実践いたします。保護者の皆さまのご理解とご協力をいただければ幸いです。

### 下枝分校の子どもたちは、お掃除上手！

下枝分校の子どもたちは、全員で10名しかいません。特にお掃除の時間は、大変です。しかし、子どもたちは無駄話をせずに、黙々とお掃除をします。この日もそれぞれの分担箇所を一生懸命にお掃除をしていました。一人で、ひとつの部屋やトイレを受け持っています。もちろん本校の児童も一生懸命お掃除をすることは、言うまでもありません。



※勉強は、毎日続けことが大切です。少しずつでもがんばりましょう！

### 冬休みの最重点！？

◎なんと言っても、交通事故の防止です。

※交通事故の殆どが、不注意が原因です。

- 急な飛び出し
- 冬道での自転車乗り
- 道路での遊び
- 無理な道路横断 等

元気に1月11日に登校を！

閑話休題：皆既月食を観察しよう！！

12月21日（火）今晚は満月です。それも16：40～17：54の間に「皆既月食（月の全部が隠れる）」があります。天候が心配ですが？……見たいですね！！

御館小学校教育目標

《スローガン：みがけ我らは黒石みかげ》

○み：みんなで 助け合う 子ども  
○か：かんがえ 伝える 子ども  
○げ：げんきに きたえる 子ども

いつも心の中に

